

令和5年度 学校経営方針

I 学校教育目標

『 かしこく、やさしく、たくましく生きる児童の育成 』
— 明るく、活力があり、地域に開かれた学校 —

めざす児童像

- かしこい子 . . . 自ら学び、よく考え、自分の考えを表現できる子
- やさしい子 . . . 思いやりがあり、他者を尊重できる子
- たくましい子 . . . 心身ともに健康で、目標に向かって努力できる子

めざす学校像

- 家庭・地域と連携した社会に開かれた学校
- 安全・安心で信頼される学校
- 児童・教職員が生き活きと磨き合う学校

めざす教職員像

- やさしさと確かな指導力をもつ教職員
- 規範意識をもち、児童・家庭・地域から信頼される教職員
- 相互に助け合い、学び合える教職員
- 働き方改革を踏まえた計画的・組織的な教育活動ができる教職員

II 経営の重点

本校は、「知・徳・体」に関わる「人生を主体的に切り拓くための学びの確立」、「道徳性を高める心の教育の推進」、「生涯をたくましく生きるための健康・体力づくりの推進」等をとおして「生きる力」を育成していく。

また、具体的な経営の重点は、以下のとおりである。

1 「人生を主体的に切り拓くための学びの確立」

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業実践により、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」を育む。

2 「道徳性を高める心の教育の推進」

「特別の教科 道徳」における「考える道徳」・「議論する道徳」の授業を中心に、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動等、学校の教育活動全体をとおして道徳教育をすすめる。

3 「生涯をたくましく生きるための健康・体力づくりの推進」

体力の向上や食育に関する指導、安全に関する指導を体育科、家庭科、特別活動等を中心にすすめる。

4 「共生社会の形成に向けた特別支援教育の推進」

特別支援コーディネーターを中心に学校体制を整え、児童一人一人の教育的ニーズ等に対応した合理的配慮を提供する。

5 「多様なニーズに対応した教育の充実」

いじめ防止対策等の推進、不登校児童の状況に応じた支援の推進及び、安全・安心な学びの場づくりをすすめる。

6 「信頼される教職員の質・教育力の向上」

学力向上や授業改善に向けた研究並びに、幅広い視野と豊かな人間性を身に付けるための修養を充実させる。

7 「創意ある学校経営」

組織マネジメントを活かした（教職員個々の能力・適性等に応じた）組織づくりを行い、活力と機動力ある学校づくりをすすめる。

また、家庭・地域と連携し、地域に開かれた魅力ある学校づくりをすすめる。